

市長の考えを聞く！

濱口 正暁 議員



濱口 医療費用・介護費用が今後上昇傾向にあり、市民への負担も大きく、予防対策が必要だと思っが。市長 予防対策を未病対策とも言っていますが、市として保健師の他に栄養士の必要性を感じている。食育と保健の両面から未病対策をしなければと思っている。また、公園のあり方について、子ども達の遊び場としてだけでなく、市の職員や体育指導員の方々との協力により現場でできる健康づくりを検討して行きたい。



夏休みラジオ体操風景

濱口 ラジオ体操、健康づくり体操あるいは筋力体操、そういうものを市民総参加の未病対策運動として企画して企画推進をお願いしたい。濱口 少子高齢化社会を迎えるに当

たり、若者の地元定着の為の雇用創出、更には高齢者の生き甲斐づくりの為の雇用確保策として農業・酪農の二次加工業の誘致をし、経済効果アップにつなげないか。市長 私は農家の方々の経営を安定させ、商業の持つ企画力とマッチさせ、更に工業の持っている技術力、資本力を誘導したい。そのために土地の検討委員会を設置し、様々な健康ファクトリーを成功させる下地の整備が必要と考えている。その戦力として「まちづくり戦略室」を新設し検討を進めて行きたい。

濱口 人口の60%強を占める南部団地の今後のまちづくりの進め方は。市長 どの団地も同じ時期に同じ世代が入居した関係で、あと5年で高齢化40%を超える所もある。マイカーに頼らない公共交通機関の整備が必要になる。更には防犯、交通事故等地域のマンパワーと協働してまちづくりや住む人たちの安全・安心・また転入者の若い人たちが移り住みやすい環境づくりを進める政策を早急に固めたいと思っっている。

市長の施策方針に

上田 欣也 議員



上田 市長の所信表明にあった「国・県との関わりを強めること」の具体例についてお答え下さい。市長 行政財産という形で、合志市内には国や県の土地がたくさんある。それらは有効に使われないうもったいない。農研センターでの成果を農家の所得増につなげるようにもつと利用することや、総合計画にある国・県の支援事業を急いで実行に移す時期だ。



九州沖縄農業研究センター

上田 行政区にとらわれず、近隣市町村と連携したいと考えるのはどういふ分野か。広域の合併は。市長 セミコンテクノパーク付近の道路整備や公共交通網における横軸のつながり、医療や買い物のような経済面での連携など。パートナーと

上田 関係を大切にしたい。今は合志市をどう伸ばすかが優先だが、その先にはさらなる合併の話が将来的には出てくることは当然の流れとしてあるかもしれない。上田 「スピード感を持ってトップセールス」を行うためには、日常的に市長の職務をサポートする副市長が必要でしょう。その時期や人選についてお考えをお聞かせ下さい。市長 国や県に対して、人材についての働きかけはやっていない。自分の考えを理解すると同時に、足りない部分を補いつつ、支えになる人物を早期に選びたい。上田 マニフェストの評価はどういう方法を取るつもりですか。市長 評価には、自己評価と外部評価がある。事業によっては、第二期基本計画の中に反映されるものであれば、行政評価システムによって数字で分かりやすく出てくるだろう。その他については、自己評価と皆様による評価を受けたいと思っ。

農家最大の危機

吉永 健司 議員



吉永 中国、韓国では各地で口蹄疫が発生している。民主党政権になりその国から稲藁の輸入が解禁となった。その後、口蹄疫が宮崎で発生した。口蹄疫感染の原因は、防止対策として、本市は畜産農家に石灰、その後、消毒薬を配布された。対応は迅速だったが、規模に関係なく一律の理由は、最初から、より効果の高い消毒薬を検討出来たのでは。市内畜産輸送業者も農家と同じように対象とすべきでは。施設園芸農家においても、コナジラミやアザミウマによる被害が猛威を振るっている。農家の方の状況を聞く耳を持っている。来年にまで農家の経営に大きな負担となってくる。今後の支援は。産業振興部長 感染源の特定はなされていない。規模による配布の判断が難しかった。緊急対策とご理解いただきたい。輸送業者に対する消毒薬配布は行っていない。国、県の支援状況を見て、市として出来る範囲の支援をする。



H22.7.10付 熊本日日新聞・朝刊

日本一

吉永 本市の小・中学校はソフト、ハード共に充実している。末永教育長のご尽力の賜物と思う。このことは数字では把握できないが、いじめや不登校を防ごうとする思い伝わる教育行政だったと思っが。教育長 なかなか解決の糸口は見えないが、常に危機感をもって教育行政に取り組んできた。

議会の動き

(3月~7月)

- [3月]**
 - 25日 議会広報調査特別委員会
 - 31日 第1回臨時会招集、議会運営委員会
- [4月]**
 - 14日 熊本県市議会議長会(山鹿市)
 - 19日 議会広報調査特別委員会
 - 22日 九州市議会議長会定期総会(佐賀県)
 - 27日 全員協議会・議会広報調査特別委員会
 - 28日 菊池地域議会議長会
- [5月]**
 - 6日 議会広報調査特別委員会
 - 13~14日 議会広報調査特別委員会行政視察研修(宮崎県、大分県)
 - 13日 石川県石川郡野々市町議会より「図書館の管理運営について等」視察研修
 - 17日 三重県菰野町議会より「福祉施策について」視察研修
 - 21日 全員協議会
- [6月]**
 - 7日 議会運営委員会、全員協議会、6月定例会招集(7~25日)
 - 17日 菊池地域議会議長会
- [7月]**
 - 6日 東京都多摩地域市議会より「行政評価(事務事業評価)を決算審査に活かすしくみ」について視察研修
 - 14日 鹿児島県南九州市議会より「議会運営に関する事項及び議会の諮問に関する事項」について視察研修
 - 20日 兵庫県丹波市議会より「行政評価の手法を取り入れた決算認定について」視察研修
 - 21日 第2回臨時会招集、全員協議会、議会活性化調査研究特別委員会
- [21日]** 兵庫県加西市議会より「子育て支援日本一のまちづくりについて」視察研修
- [25~27日]** 第86回 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- [31日]** 議会運営委員会